# 多分きっと今からでもいける PWA超入門!

エムスリーキャリア株式会社 堀 正斉

### 自己紹介



名前:堀 正斉

所属:エムスリーキャリア(株) フロントエンドエンジニア

言語: CSS(sass), Javascript, Ruby on Rails

夢:5年後に海外のサッカークラブでエンジニアとして働く

5,000,000,000

答え:webと繋がっているデバイスの数

# 多分こんなエコシステムはありません。

# But

# 今までのwebのUIって?

# 混んでる電車の中、 急に切れる電波。





ページを開けません。iPhoneがイン ターネットに接続していません。







Oh··· Shit.

### ネイティブアプリ VS webアプリ

#### **Monthly Unique Visitor**

webアプリの勝ち

#### **Average Time Per User**

ネイティブアプリの圧勝

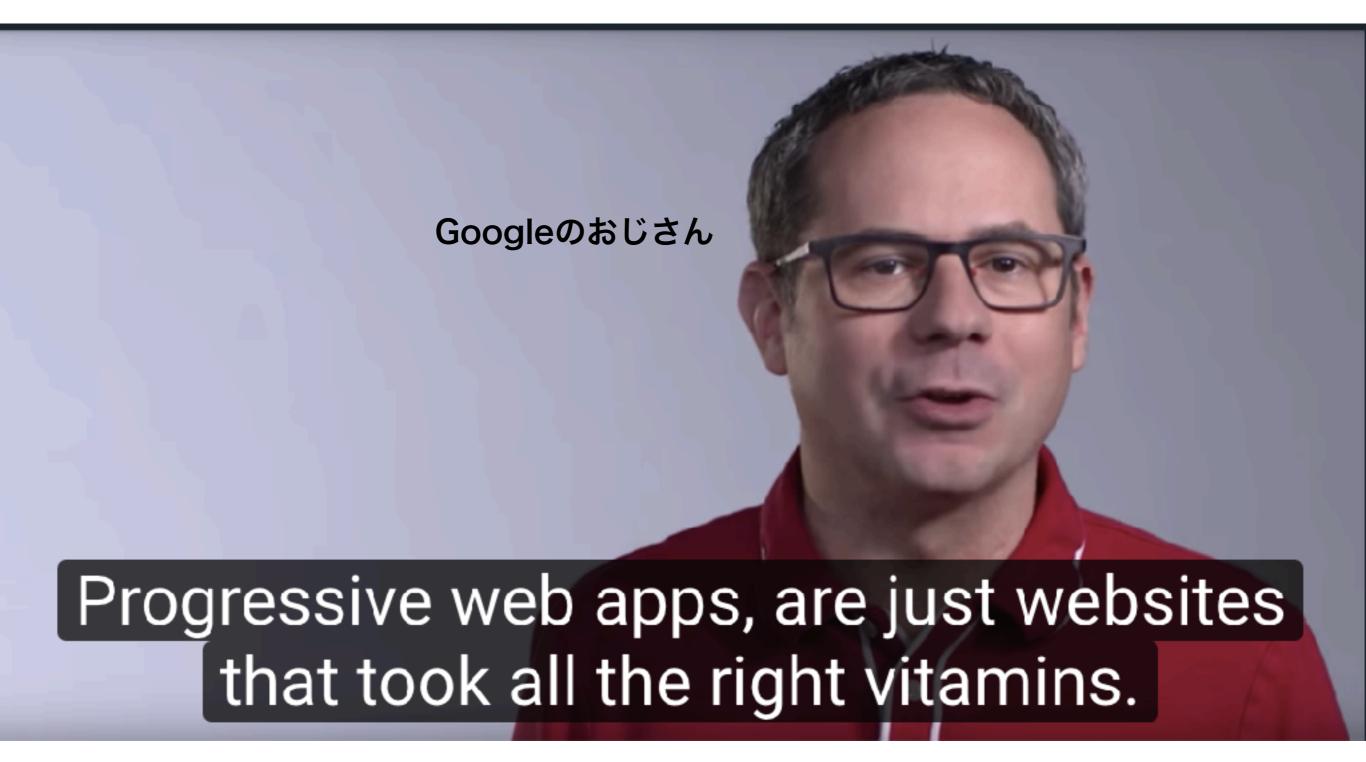
ネイティブアプリって 帯域パツパツでも動いてくれるし プッシュ通知もあるし ホーム画面に追加されるし なんだかんだで便利。 webの課題はスピードとエンゲージメント

# ここでPWAの登場

主にエンゲージメント面で。スピード面はAMP

#### What's PWA?

著作権無視ですいません



#### What's PWA?

個人的には Webでできることを増やしていこうよ! みたいな考え方だと捉えています。

#### PWA化の影響

**BEYONDTHERACK** 

プッシュ通知を導入。

滞在時間 +72%

平均訪問時間 +26%

再訪問率 +50%



appのみの戦略を変更し、webappを開発。 2G回線への対応を行う。

滞在時間 3倍

データ量 1/3

ホーム画面に追加ボタンを購入画面に 進んだユーザーにのみ出すようにしている。

#### What's service worker?

バックグラウンドで起動するJavascript環境

【主に出来ること】

- ・オフラインでのアプリケーションへのアクセス
- ・ネイティブアプリUIをwebアプリに
- ・プッシュ通知

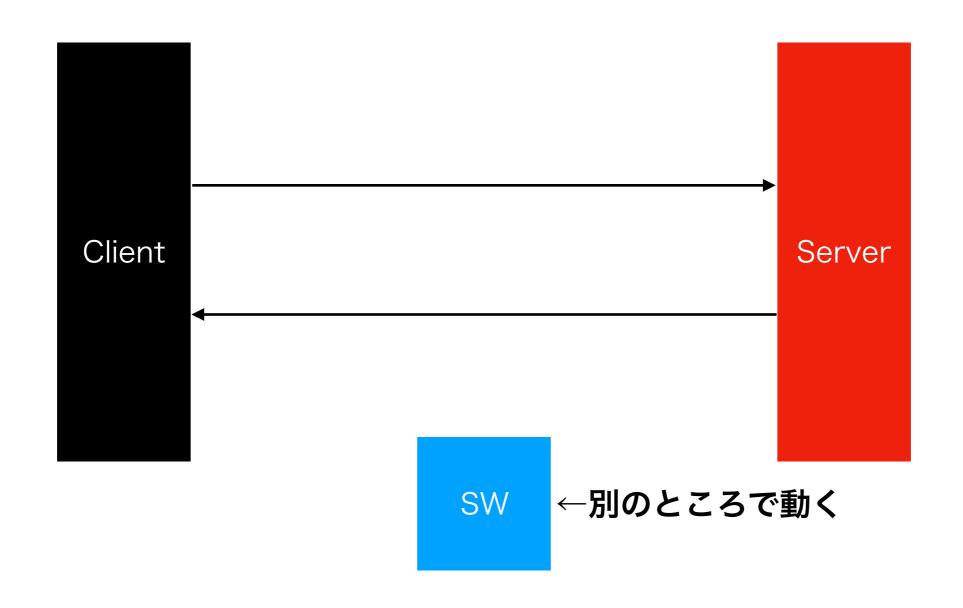
※例:日経電子版TOPページ

https://r.nikkei.com/

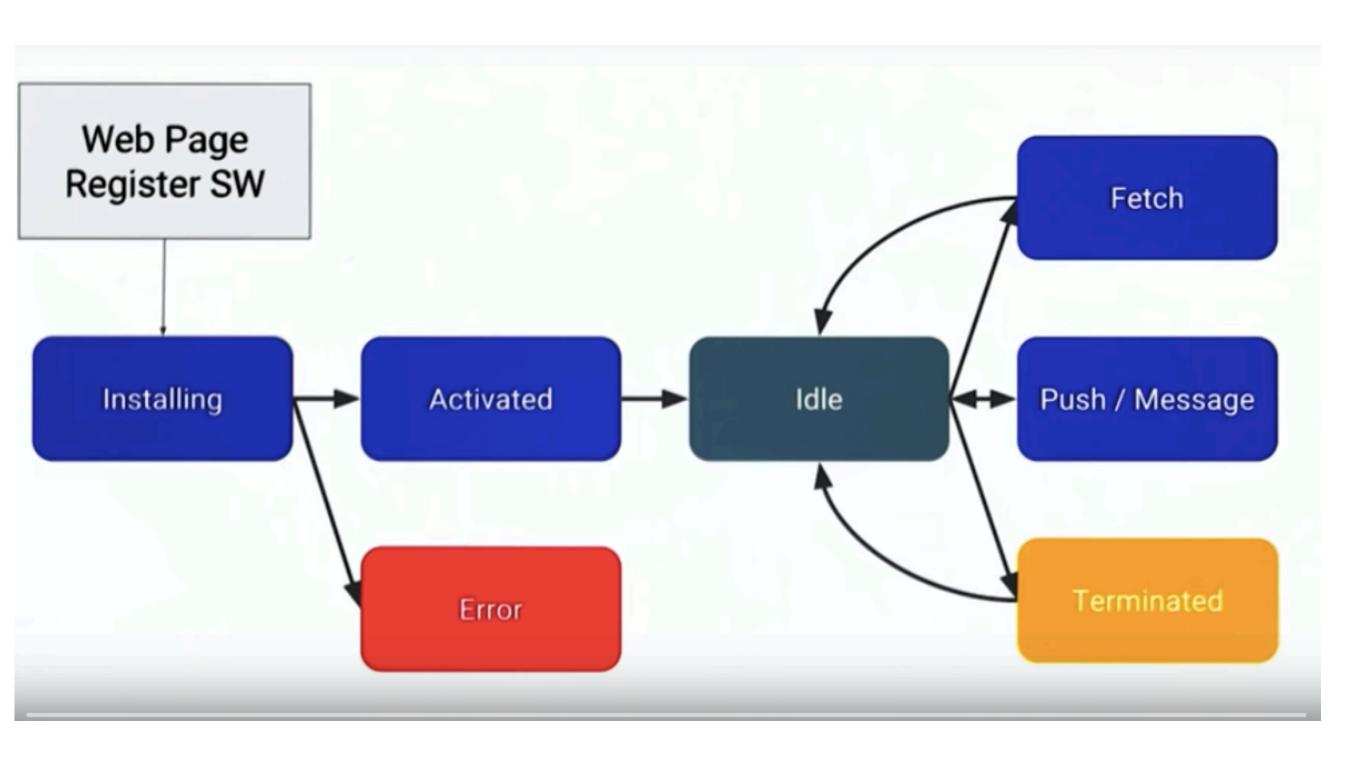
### service workerの特徴

- ①webのライフサイクルとは全く別。
- →ブラウザを閉じていても動いている
- ②DOMに直接アクセスできない
- ③ネットワークプロキシのようなもので、 ネットワークリクエストをコントロール出来る

# service workerのライフサイクル(1)



# service workerのライフサイクル (2)



#### service workerの注意点



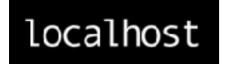
①対応ブラウザはChromeとFirefox SafariとEdgeは開発中。

※Safariについてはv11.3で対応、 Edgeも次のversionで対応するぽい

参考

https://caniuse.com/#search=service

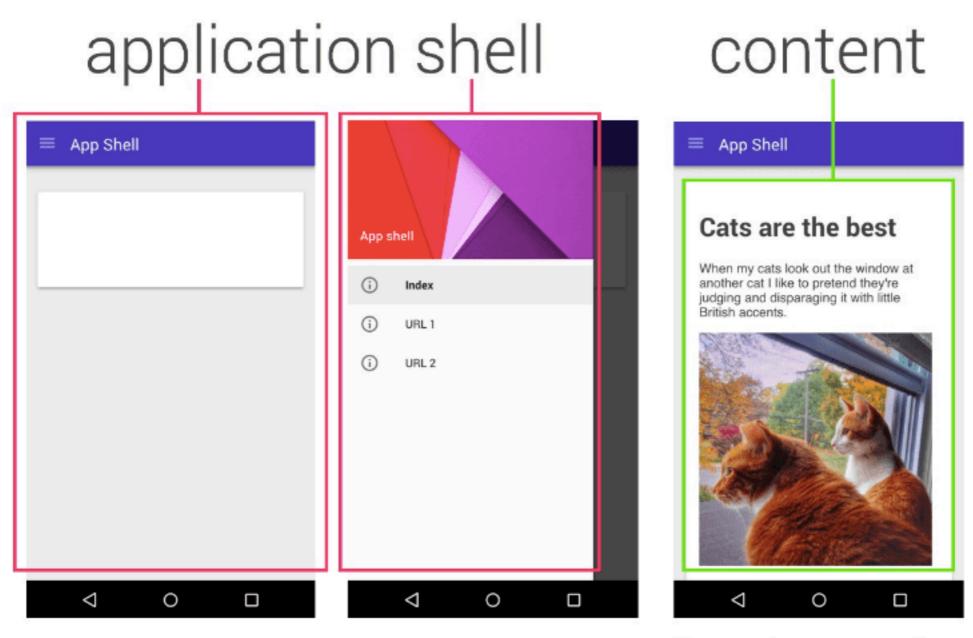
https://jakearchibald.github.io/isserviceworkerready/





- ②dev環境とhttps通信の環境下でないと動作しない。
- →接続へのハイジャック、改ざんなどが行われてしまう 可能性があるので、これを防ぐため。

# AppShellモデルとは?

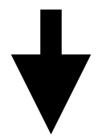


Cached shell loads instantly on repeat visits.

Dynamic content then populates the view

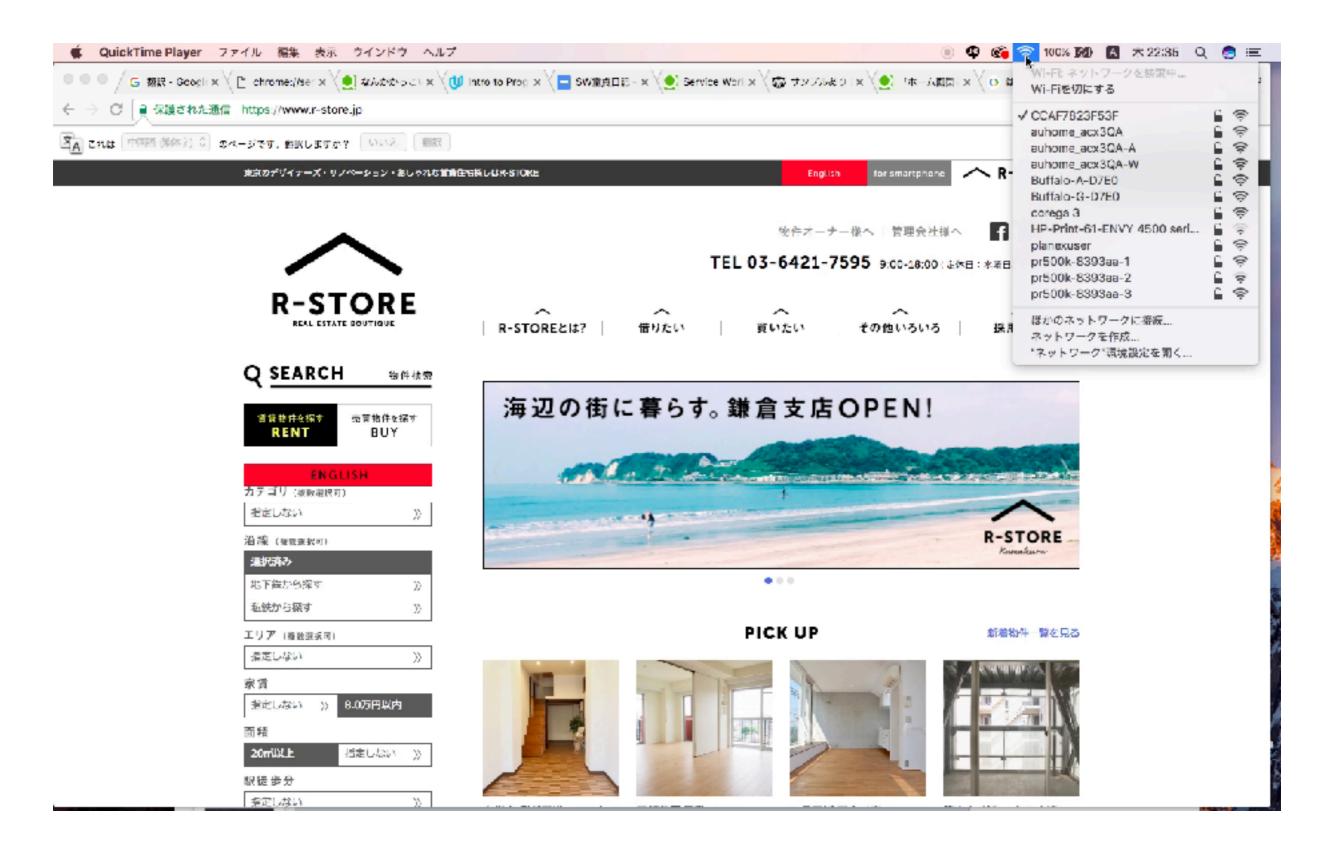
# AppShellモデルとは?

アプリケーション シェル (App Shell) アーキテクチャは、 ネイティブ アプリのように瞬時に、そして確実にユーザーの画面に 読み込める Progressive Web App を構築する方法の 1つ。

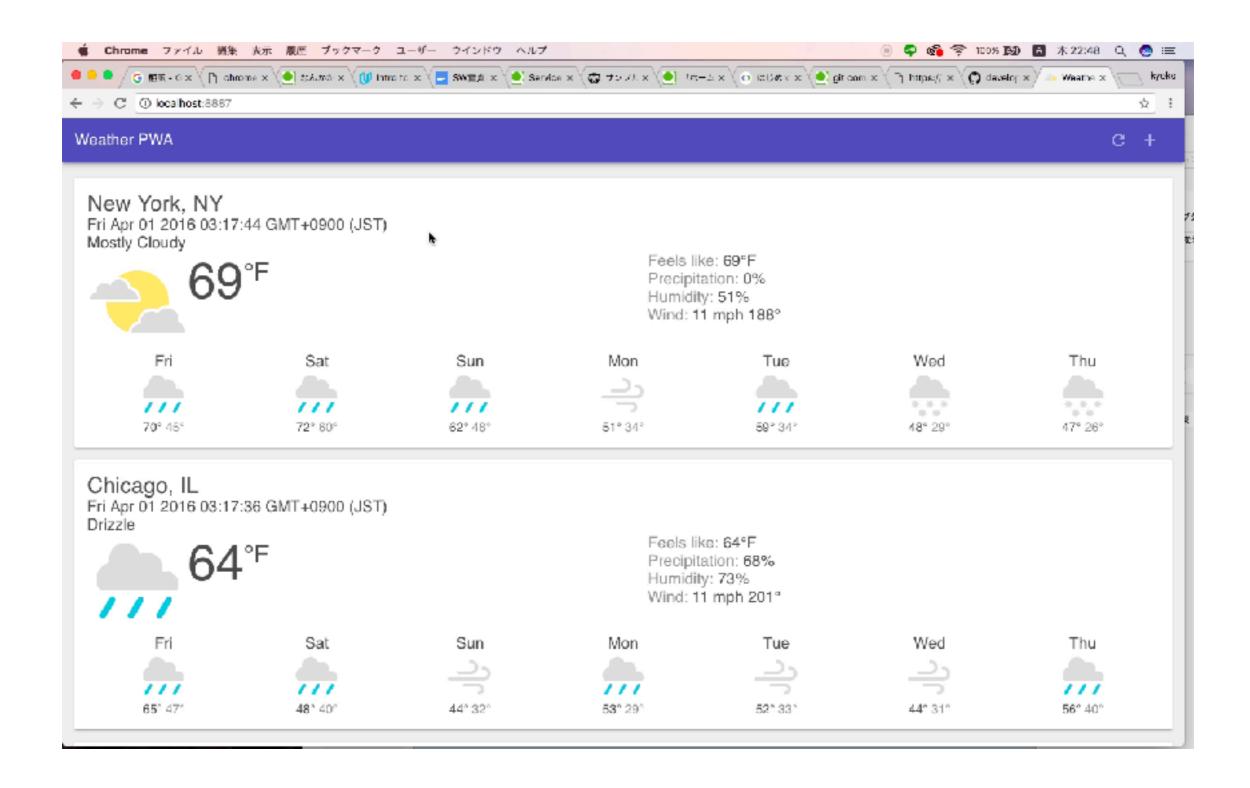


Shell→UIが最低限機能するためのHTML/CSS/Javascriptとか オフラインで使用できるようにキャッシュしておくことで、ユーザーが 同じページに再度アクセスした際に高いパフォーマンスを出せる。 ユーザーがアクセスするたびにネットワークから全て読み込まれる 訳ではなく、必要なコンテンツだけが読み込まれる。

# デモ (普通のページ)

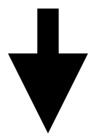


# デモ (オフラインアプリ)



## なぜオフラインでもページが表示された?

Service Workerを通じてcache APIを利用 リソースを端末にダウンロードしておく キャッシュをアプリ側にレスポンスとして返す



オフラインでも、キャッシュしたデータを用いて画面表示ができた!

ソースコードはこんな感じ。

## **1**register

```
//serviceworkerを登録するためのコード
if ('serviceWorker' in navigator) {
    navigator.serviceWorker
    //serviceworkerのスコープはrootに
    .register('/service-worker.js')
    .then(function() {
        //consoleにメッセージを出す
        console.log('Service Worker Registered');
     });
}
```

Service Workerのコントロール下に 置くページを定義する。

## **2**install

主に静的ファイルをcacheに追加。 ここでフレームワークとかも読み込んでも良さそう。

#### 3 activate

```
新規インストール時には特に関係ない。cachenameが更新されて、
// SWが更新されたと判断されてinstallイベントが発火して、新しいcachenameで保存される。
self.addEventListener('activate', function(e) {
 console.log('[ServiceWorker] Activate');
 e.waitUntil(
   // cache.keys()によって保存されているキャッシュの名前が列挙されて、
   // ホワイトリストの中にない古いcacheが削除される
   caches.keys().then(function(keyList) {
     return Promise.all(keyList.map(function(key) {
      // cacheName と keyが不一致、dataCacheNameとkeyが不一致の
      // 時には古いキャッシュを削除する。
       if (key !== cacheName && key !== dataCacheName) {
        console.log('[ServiceWorker] Removing old cache', key);
        return caches.delete(key);
     }));
   })
```

Service Workerを更新するタイミングで発火。 古いキャッシュは削除して、差分を更新する。

### 4fetch -1

Service Worker がブラウザをコントロールしている時に リソースのリクエストが発生すると fetch イベントが発火。

### 4fetch -2

fetch イベントで何もしなければ、普通にネットワーク経由で リクエストが処理される。

# おまけ

manifest jsonの紹介

# What's manifest json?

ネイティブアプリのUIをwebアプリにも提供する

#### 【主に出来ること】

- ・ネイティブアプリUIをwebアプリに
- ・ホーム画面に追加

例1:twitter lite

https://lite.twitter.com/

例2:wego

https://www.wegotravel.jp/

## manifest jsonのサンプル

#### HTML

```
<link rel="manifest" href="manifest.json">
```

JSON 一応、service workerも必要

こんな感じのファイルを追加するだけで

### 以下のようなことができる

#### プロンプトが出る



#### ホーム画面に追加される



#### ネイティブアプリぽいUI



#### まとめ

- ①AMPとの併用で阿部寛みたいなページロード速度を目指してみたい。
- ②ES6のPromiseについてはちゃんと理解しないとダメ。。 (頑張ります・・・)
- ③アプリがオワコンだとは思わないけど、webで出来ることどんどん増えてく。 (なので境界線は曖昧になっていく気もする)

# 参考サイト

- 1 2 3 4 5 6

# #PWA深掘りしてる人と繋がりたい

おしまい